

科目名	人間関係論				
担当講師名	相澤 文恵	所属・役職		資格・免許	
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 学年前期
講義の概要	<p>人間関係は人間としての存在に備わる基本的条件の一つである。「どうすれば好ましい人間関係を築くことができるか。」私たちはその方法を日々模索し、人間関係を良好に保つためにコミュニケーションを続ける努力をしている。保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、看護ケアや福祉援助においては、人間関係は単なる手段としての意味を持つだけでなく、人間関係の質そのものがケアや援助の質を決定づける。</p> <p>人間関係の基本は「自分自身を知る」ことである。一般的に、私たちは他者に照合することによって自分自身を認識する。また、私たちは他者の存在によって自分の社会的役割を認識する。他者との関係で構築された人間関係は、様々な社会的相互作用の原因となり、また結果ともなる。本授業においては、人間関係の基礎知識を修得し、それを応用することによって、将来、看護師としての職務を遂行する際に、良好な人間関係を構築できるようになることを目的とする。</p> <p>カウンセリングの基本的事項を臨床心理学の立場から理解することを大きな目標とする。そして、カウンセラーに必要な態度を学ぶことを通して、看護職・医療職として生きていく上で重要な“相手を尊重し、自分も大切にすること”について、自分なりの気づきを得ることを目指す。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の心理や行動を理解するための基礎知識を学ぶ ・カウンセリングの基礎となる理論とコミュニケーションスキルを学び、実際の場面で適切なコミュニケーションができる基礎を作る 				
講義回数	講義内容				
1～15	1. 自己概念と人間関係 2. 対人認知に関わる要因 3. 社会的相互作用と社会的役割 3. 集団意思決定とグループの人間関係 4. コミュニケーションの構成要素と過程 5. 行動科学の諸理論と医療現場での応用 6. カウンセリングの基礎 7. 対人援助職の態度 8. 家族の理解と家族支援 9. 心理的危機とその対応 10. チーム医療と多職種連携に活かすグループの視点 11. クライアントからの質問への応用 12. ケアする人のストレスマネジメント				
教科書等	適宜、資料配布 参考書：系統看護学講座 基礎分野 「人間関係論」 医学書院 人間関係づくりトレーニング 金子書房				
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点					
特記事項					